

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2020年度

放課後等デイサービス ウェルネスリンク

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		◇ご利用者ひとりひとりに自分の椅子とロッカーを準備し、使用目的に合わせ活動スペースを分けている。◇環境整備に配慮し、動的活動時、静的活動時と設定している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		◇車椅子のご利用者様にもスムーズに活動に入れるように配慮している。◇手すり・踏み台の設置
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			◇日々の申し送りを徹底し、職員間の共有・改善に努めている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			◇アンケート調査だけでなく、保護者様とは連絡報告をこまめに行っており細やかな対応を心掛けている。◇現状、できることから取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			◇ホームページに掲載している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		◇今後必要に際し検討する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			◇ひとりひとりの障害に合った支援について常に情報を共有し、定期的に研修会を行っている。◇月1回の職場内研修の実施、不定期ではあるが、外部研修随時学習会の実施◇月1回の研修で理解を深めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			◇保護者様のニーズも伺い、家庭と連絡を図ることでより良い支援ができるように努めている。◇策定会議において検討している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			◇行動観察シートを使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			◇担当を決めその上で相談しながら行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			◇職員主導にならないようにご利用者様にもリクエストプログラムを伺い、考えてもらうことで参加してもらっている。◇利用回数によってばらつきがないようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			◇長時間なんとなく過ごすのではなく、集団行動と自由活動のメリハリをきちんとつけた。◇設定時間に無理がないようにエイ隠している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			◇ご利用者様が戸惑うことなく活動参加できるように事前準備を正確に打ち合わせをしている。◇活動内容等を事前に共有し職員が動けるように打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			◇日々の申し送りにて利用者の様子の確認をしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			◇療養記録・提供記録に記載し共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		◇月2回のミーティングで利用児の様子を行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		◇現在、医ケア児の利用はない◇医療的ケアを要する利用児がいないため、今後の受け入れに際し整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		◇計画相談からの情報をいただいている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		◇対象児はいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			◇外部研修への参加
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	◇情報交換をしている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			◇送迎時や連絡帳にて保護者と共有している◇連絡帳等を活用し、日々の活動の様子や子供の様子をお伝えしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		◇必要と思われる際は関係機関と連携し、プライバシーに配慮し実施取り組みを行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			◇問い合わせ時、契約時に行っている◇契約時に行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			◇保護者との関係性構築に基づき適宜行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	◇プライバシー配慮の必要性により、保護者会は設定していない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			◇毎月活動予定表を配布◇毎月活動予定表を配布している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
非常時等の対応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	◇個人情報の観点から、招待は不可能と考えているが、地域商店街へは加盟しており、プライバシーに配慮しつつ参加している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			◇月1回各想定をし訓練、年2回不審者対応等想定し実施◇毎月避難訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			◇除去食児対応	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		◇事例集は未作成だが、学習会を通じ共有している	